

令和6年度

# 福山大学 公開講座

コロナ明けの備後地域 / 福山の現状と未来



対面講座 (全5回) 各講座 130名  
 【毎週土曜日】11:00 ~ 12:00  
 福山大学 (未来創造館2階大講義室 (C0201))

第1回	9/14	工学部 教授 河口 佳介
第2回	9/21	経済学部 准教授 鍋島 正次郎
第3回	9/28	人間文化学部 准教授 洞ヶ瀬 真人
第4回	10/5	生命工学部 准教授 村上 泰子
第5回	10/12	薬学部 教授 高根 浩

※講座詳細は裏面をご参照ください

4講座以上の対面受講者に修了証書を授与(オンデマンド受講者は対象外)



## 申込方法

### ①パソコンから

大学HPより申し込いただけます。

福山大学 公開講座 検索

### ②スマートフォン タブレットなどから

QRコードを  
カメラでかざして  
申込スタート!



締切

9月7日(土)

## オンデマンド配信 以下の配信期間、全5講座すべて無料配信

9月14日(土)12:00 ▶ 10月12日(土)12:00



事前に作成した講師の動画を「Youtube」にて公開します。右記のQRコードまたは大学HPのリンクよりご視聴ください。

インターネットに接続できるスマートフォン、パソコンなどから受講できます。※通信費は自己負担になります。

(個人情報の取り扱いについて) 申込フォームに入力いただきました個人情報につきましては、本公開講座に関する連絡以外に使用することはありません。

問い合わせ先: 福山大学 総務部 企画・文書課

〒729-0292 福山市学園町1番地三蔵

TEL:(084)936-2111

主催: 福山大学 後援: 福山市教育委員会

令和5年度は「コロナ明けの日常/非日常」という統一テーマで、我々が日常接する、経済・風土や文化・様々なものづくり産業・農業や漁業・医療や薬品・食品・メンタルなど様々な課題に対して、with コロナにおける取り組みを多彩な講師陣が多角的観点からご紹介しました。令和6年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行し、日常生活や経済活動が新型コロナウイルス感染症以前に戻った年と言えるでしょう。そこで、「コロナ明けの備後地域/福山の現状と未来」と題し、備後地域の自然や生活様式、風土、また、それらを基盤とする多様な産業を俯瞰し、コロナ明けの新たな日常と未来に関連される様々な事象について、多彩な講師陣が多角的観点から新たな研究成果やトピックスを交えながらわかりやすく紹介・解説いたします。



工学部 教授 河川 佳介

## コロナ明けの循環型社会と建築について

新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより我々の生活環境は激変したように考えます。室内換気や消毒だけではなく、建築における自己免疫力を高める住まいの在り方と人体に必要な水の環境について紹介したと考えています。循環型の環境の在り方を掘り下げ考察すると日常飲料水や体内の水分、コンクリート内部の水分などの水の粒子を細かくするテクノロジーを活用する事により環境に配慮した健康的な生活に近づけるのではないかと考えます。



経済学部 准教授 鍋島 正次郎

## 新型コロナ・パンデミックと備後企業

2020年春に始まった世界規模の新型コロナのパンデミックは、各国で多くの犠牲者を出しただけでなく、人々の移動を著しく制限して、それまで活発に行われていた海外渡航を難しくするなど、私たちに様々な影響を及ぼしました。しかし、コロナのパンデミックもようやく落ち着き、2024年に入ると、私たちの生活も以前のスタイルを取り戻してきています。それでは、備後企業は、コロナ以前とコロナ禍の中、そして、コロナ明けを迎えようとする現在、どのような動きを見せているのでしょうか？例えば、コロナ以前に活発だった海外進出の動きは再び活発化しようとしているのでしょうか？この講座では、各種のデータを通して、新型コロナが備後企業に及ぼした影響を明らかにしてゆきたいと思います。



人間文化学部 准教授 洞ヶ瀬 真人

小津安二郎『東京物語』から考える、  
コロナ後の備後地域に大切なこと

—ネットワークの外側にある場所の価値について

小津安二郎の『東京物語』は、主人公が東京・熱海・尾道を汽車で往来するように、日本中が鉄道網で結ばれる時代のネットワークの物語でもあります。ですが、その物語の視線は東京という網の目の中心から尾道という地方に流れ、その尾道でも、中心市街でも造船所でもなく、駅から離れた街の片隅を舞台するように、実はネットワークの外側へと向かっています。コロナ禍を経た今、インターネット網が生活のあらゆる物事にまで浸透しましたが、そんな小津ならさっとネットの目も届かない場所を探して映画にしようです。備後地域に戻ってきた旅行者も、求めているのはネットからでは体験できない物事、ネットワークの外側ではないでしょうか。コロナ禍が明け、ネットのつながりから一歩踏み出せるようになった今、この備後地域の価値はどこにあるのかを『東京物語』の尾道描写から考えて見たいと思います。



生命工学部 准教授 村上 泰子

## 健康力を高めるための栄養の話

日本食は、海外でも広く受け入れられ、美味しさや文化的側面だけでなく、その健康価値にも注目を集めています。一汁三菜を基本とする日本の食事スタイルは、理想的な栄養バランスを可能とし、日本の長寿を支えてきました。おそらく多くの方は、どのような食習慣が健康的であるかを理解しているのではないのでしょうか。しかし、近年の社会情勢や食環境の変化、あふれる健康情報の影響によって、私たちは意図せず、望ましくないあるいは根拠不明な食行動を選択しているかもしれません。本講座では、最新の地域の健康データや日本人の食事摂取基準からの情報等を交え、身近な栄養の疑問を解説します。そして、個人に求められる健康を決める力について考えてみましょう



薬学部 教授 高根 浩

## 健康食品・サプリメントを理解して賢く利用する

新型コロナウイルス感染症渦中では不要不急の外出自粛が要請され、そのような状況下で肥満や健康に不安を抱える人が増加しました。運動不足等解消のため自宅やひとりで簡単にできるウォーキングなどを開始する人が増加し、コロナ感染症が5類感染症に移行後も健康づくりに高い関心が寄せられています。健康の維持増進の一環として、健康食品・サプリメント（以下、健康食品）を利用する人も増えています。しかし、健康食品の購入や利用は手軽に行うことができますが、自分で適切かつ安全に利用できる健康食品を判断することは簡単ではありません。本講座では、健康食品を安全に利用するために知っておきたいことをわかりやすく解説します。